

# 初心者のための日経225先物取引入門

株と日経225先物の違いは？ 株式投資と先物投資を比べて基本の仕組みをマスターしよう

楽天証券株式会社

株式・デリバティブ事業部

尾崎 正弥

# 取引の対象は？何を売買するのか？

比較	株（現物）	株価指数先物
取引の対象	個別企業	株価指数（日経平均株価指数など）
たとえば	トヨタやソニーなど、東証プライム・スタンダード・グロースなど各市場の約3,900社の中から個別に選んで投資	日経225先物。東証プライム市場に上場する日本を代表する225社の平均指数だから日本経済全体に投資するイメージ
変動要因	各企業の決算やIR情報などで上げ下げ	日本（世界）経済全体の動き。特に、日経平均株価は常にテレビや新聞等で報道されており馴染みやすい（親しみやすい）
破綻リスクは？	あり。倒産すると株価はゼロになることも	構成銘柄の1社が破綻しても影響度合いは小さい。日経平均株価がゼロになることはない。

# 株と日経225先物のルールの違いは？

比較	株（現物）	日経225先物	
取引時間	（前場）9:00～11:30 （後場）12:30～15:00※	（日中）8:45～15:15※ （夜間）16:30※～翌6:00	
取引の期間	（実質）無期限	取引に期限がある	
呼値（よびね）の単位	0.1円、0.5円、1円、5円、10円などの 単位で変動する （株価の価格帯によって異なる）	日経225ミニ・日経225マイクロは5円単位 日経225ラージは10円単位	
最低取引単位	100株が最低取引単位で <b>1単元</b> と呼ぶ （かぶミニは1株～可能）	日経225マイクロは日経225指数の10倍が 最低取引単位で <b>1枚</b> と呼ぶ。 （ミニは100倍、ラージは1,000倍）	
取引に必要な資金	その企業の株価×株数	（取引所で決められた） <b>証拠金</b>	
取引開始（新規）	買い	買い	売り
取引終了（決済）	売り	売り（転売）	買い（買戻）
取引口座	総合口座	先物・オプション取引口座	

※2024年11月5日（火）から取引時間の延長・変更が予定されています。

# 取引時間は？

取引時間 (日本時間)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
株式		前場立会 9:00～11:30			後場立会 12:30～15:00			米国株取引時間														
		米国株取引時間 (サマータイム)																				
先物 祝日取引あり		日中立会 8:45～15:15						夜間立会 16:30～翌6:00														

区分	取引時間	
	日中立会	夜間立会
プレ・オープニング (寄前注文受付)	8:00-8:45	16:15-16:30
オープニング (寄付き)	8:45	16:30
ザラバ	8:45-15:10	16:30-翌5:55
プレ・クロージング (引前注文受付のみ)	15:10-15:15	翌5:55-6:00
クロージングオークション (大引け)	15:15	翌6:00

← 帰宅後にじっくり取引する投資家が増える時間帯 →

← 米国の経済指標等の発表で値動きが大きくなる時間帯 →

**R** ※2024年11月5日（火）から取引時間の延長・変更が予定されています。

# 取引の期限は？

■限月（げんげつ）とは、取引の期限を表す月（満期月）です。

<マーケットスピードIIの先物OP市況情報画面>

先物OP	銘柄	日経225ミニ			
銘柄	限月	市場	現在値	前日比	出来高
日経225	-	-	38,633.93	-186.56	-
日経225ミニ	24-04	大阪	38,400	-105	57,687
日経225ミニ	24-05	大阪	38,450	-50	687
日経225ミニ	24-06	大阪	38,420	-110	863,100
日経225ミニ	24-07	大阪	38,420	-80	57
日経225ミニ	24-09	大阪	38,380	-115	11,495
日経225ミニ	24-12	大阪	38,155	-155	949

<限月ごとの取引期間>

限月/期限	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
24-04		SQ日4/12								
24-05		SQ日5/10								
24-06			SQ日6/14							
24-07				SQ日7/12						
24-09					SQ日9/13					
24-12								SQ日12/13		

※SQ日は各月の第2金曜日

- ✓ SQ日（最終決済日）の前営業日15時15分まではいつでも売買できる
- ✓ SQ日を迎えると強制的に決済される（SQ日の日経平均の寄り付き価格で決済）
- ✓ 取引するのは3月・6月・9月・12月のメジャー限月の期限の短いものがおすすめ

# 取引の単位と必要な資金を具体的に？

比較	株（現物）	日経225先物
取引の単位	内国株式は100株が最低取引単位で1単位と呼ぶ	日経225マイクロは日経平均株価の10倍が最低取引単位で1枚と呼ぶ（ミニは100倍、ラージは1,000倍）
例えば？	楽天グループ 100株	日経225マイクロは日経平均の10倍
	東京エレクトロン 100株	日経225ミニは日経平均の100倍
取引代金 （いくら相当の取引をしているか 3/11終値）	楽天グループ（1単位買い） 826.9円×100株 = 82,690円	日経225マイクロ 38,530円×10倍 = 385,300円
	東京エレクトロン（1単位買い） 37,150円×100株 = 3,715,000円	日経225ミニ 38,530円×100倍 = 3,853,000円
最低投資金額 （取引するのにいくら必要か？ 3/12時点）	楽天グループ（1単位） 826.9円×100株 = 82,690円	日経225マイクロ（1枚の証拠金※） 買い：20,185円、売り：19,450円
	東京エレクトロン（1単位） 37,150円×100株 = 3,715,000円	日経225ミニ（1枚の証拠金※） 買い：201,844円、売り：194,499円

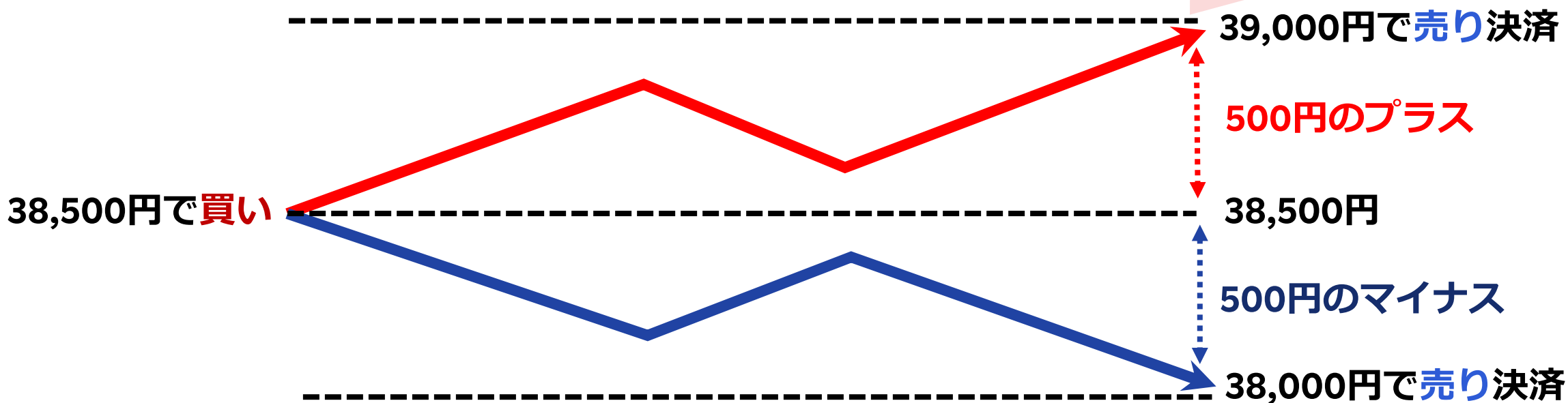
※証拠金は取引所により毎営業日見直しが行われます。

# 損益の計算例（買いからスタート）

## ■ 日経225マイクロ先物を1枚買いで取引を開始した時の損益計算例

日経225マイクロ先物

買い1枚あたりの証拠金：20,185円（2024年3月12日時点）



【1枚あたりの利益】

$$\begin{aligned} & \text{値動き} \times \text{倍率} \times \text{売買枚数} \\ & 500\text{円} \times 10\text{倍} \times 1\text{枚} \\ & = \text{プラス}5,000\text{円} \end{aligned}$$

✓ 先物取引は買いでも売りでも金利や貸株料は一切かからず、かつ1日に何度も回転売買できるのも特徴です。

【1枚あたりの損失】

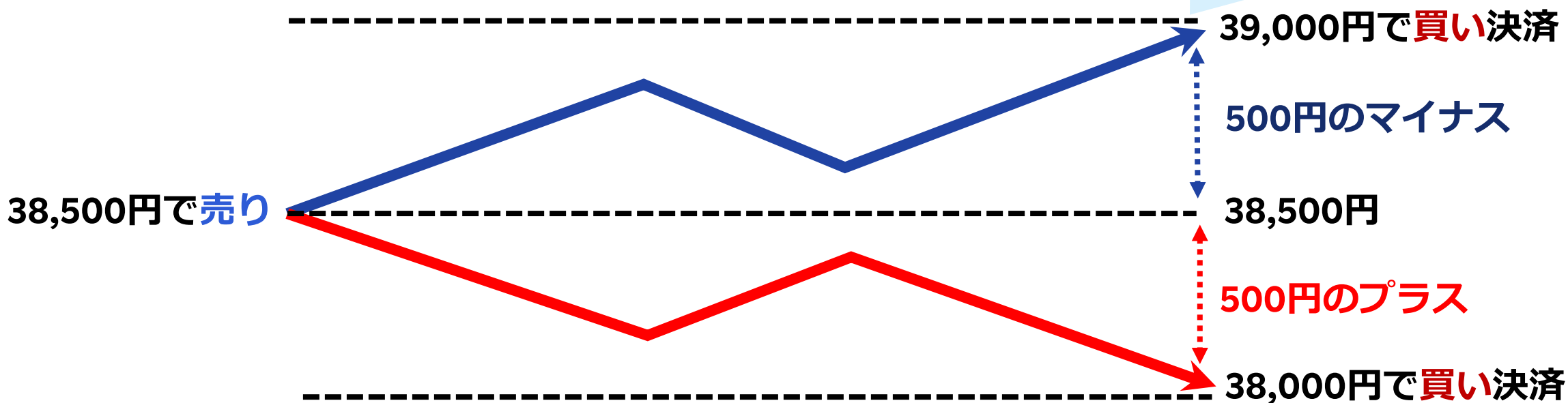
$$\begin{aligned} & \text{値動き} \times \text{倍率} \times \text{売買枚数} \\ & -500\text{円} \times 10\text{倍} \times 1\text{枚} \\ & = \text{マイナス}5,000\text{円} \end{aligned}$$

# 損益の計算例（売りからスタート）

## ■ 日経225マイクロ先物を1枚売りで取引を開始した時の損益計算例

日経225マイクロ先物

売り1枚あたりの証拠金：19,450円（2024年3月12日時点）



【1枚あたりの損失】

$$\text{値動き} \times \text{倍率} \times \text{売買枚数}$$
$$-500\text{円} \times 10\text{倍} \times 1\text{枚}$$
$$= \text{マイナス}5,000\text{円}$$

✓ 下がると予想した時は、売りからスタートできるのも特徴です。買いも売りも掛かる費用は取引手数料だけです。

【1枚あたりの利益】

$$\text{値動き} \times \text{倍率} \times \text{売買枚数}$$
$$500\text{円} \times 10\text{倍} \times 1\text{枚}$$
$$= \text{プラス}5,000\text{円}$$



# 追証（おいしょう）制度とは？

先物・オプション口座状況

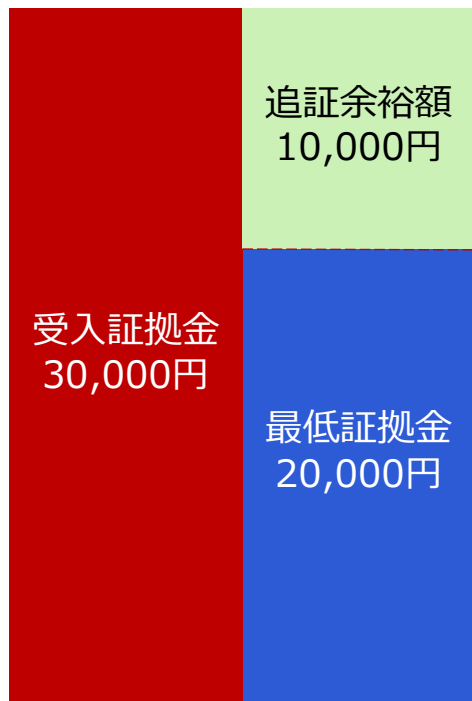
①先物・オプション口座へ証拠金として30,000円を振替



受入証拠金	30,000円
最低証拠金	0円
追証余裕額	0円
維持率	—



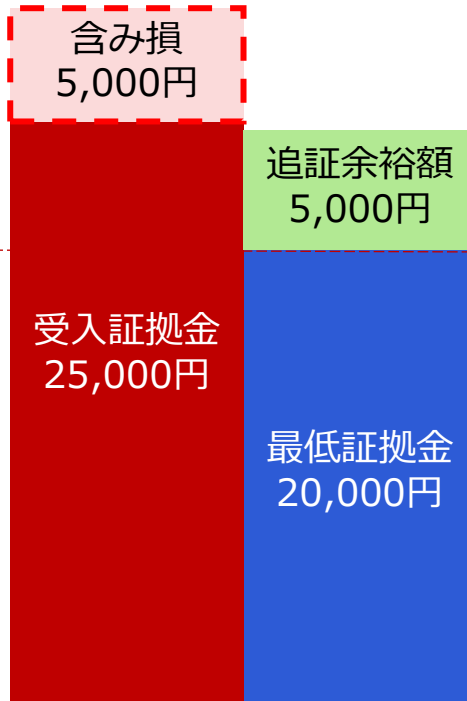
②日経225マイクロ先物を38,500円で1枚買い（証拠金20,000円）



受入証拠金	30,000円
最低証拠金	20,000円
追証余裕額	10,000円
維持率	150%



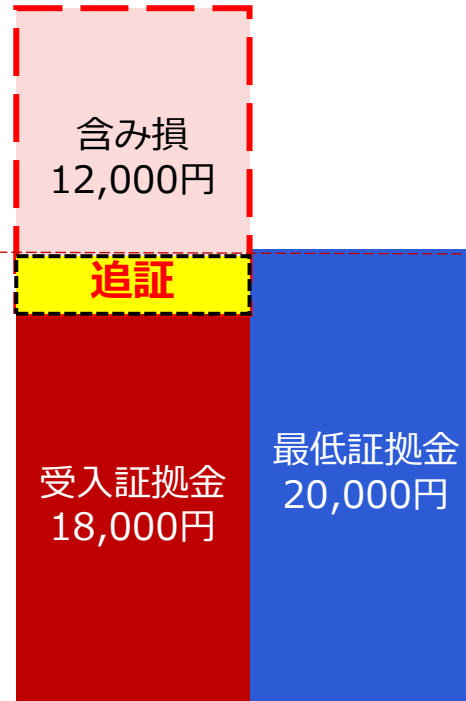
③日経225マイクロ先物が38,000円まで下がりました。（-500円×10倍）



受入証拠金	25,000円
最低証拠金	20,000円
追証余裕額	5,000円
維持率	125%



④日経225マイクロ先物が37,300円まで下がりました。（-1200円×10倍）



受入証拠金	18,000円
最低証拠金	20,000円
追証余裕額	▲2,000円
維持率	90%

追証額



※証拠金維持率 = 受入証拠金 ÷ 最低証拠金

# 追証発生時の対処法は？

- 追証の判定は日中取引終了後（15:15以降）に最低証拠金が見直しされ判定が行われます

取引方針	対処法
①続ける	翌営業日正午までに追証請求額を入金（振替）する
②やめる	翌営業日正午までに建玉を全決済して取引を終了する

※お客様側で翌営業日正午までに①②どちらも未対処の場合は、当社にて先物・オプション全建玉の決済注文を発注させていただきます。（強制決済）

✓ 取引開始前にあらかじめ取引限度額を決めるなど、  
資金に余裕を持って取引を行いましょう！

# 入門編のチェックポイント



## 限月（げんげつ）取引

取引に期限があります。3月・6月・9月・12月のメジャー限月を取引しましょう。



## 売りから取引できる

上がると予測した場合は買いから、下がると予測した場合は売りからスタートしましょう。



## 証拠金制度

一部の証拠金で取引できます。株価指数先物OPは毎営業日見直しが行われます。



## 追証制度

維持率が100%を割り込み、思惑と逆に行った際は続けるのか、損切りするのかを判断しましょう。

# ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようようお願いいたします。

# 投資にかかる手数料等およびリスク

## 【先物・オプション取引にかかるリスク】

先物・オプションの価格は、対象とする株価指数や商品市場の相場の変動等により上下しますので、これにより損失が生じるおそれがあります。また、先物取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る額の取引をおこなうことができ、大きな損失が発生する可能性があります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。大阪取引所において、同一の先物・オプション口座で指数先物取引以外の先物取引又はオプション取引（商品先物取引、オプション取引）を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、指数先物取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが対象の先物取引に関して発生したものでなくても、その他の先物・オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うこととなります。オプション取引はオプションを行使できる期間には制限があります。また、オプションの市場価格は、現実の株価指数の変動等に連動するとは限りません。価格の変動率は現実の株価指数の変動率に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失が発生する可能性があります。

## 【オプション取引における買方特有のリスク】

オプションは期限商品であり、買方が期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、買方は投資資金の全額を失うこととなります。

## 【オプション取引における売方特有のリスク】

売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、売方は、オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れまたは預託しなければなりません。大阪取引所において、同一の先物・オプション口座でオプション取引以外の先物取引（指数先物取引、商品先物取引）を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、オプション取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが対象のオプション取引に関して発生したものでなくても、その他の先物・オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うこととなります。売方は、権利行使の割当てを受けた際には必ずこれに応じる義務があり、権利行使価格と最終清算指数(SQ値)の差額を支払う必要があります。

【先物取引にかかる費用】

1枚あたり以下の取引手数料がかかります。

銘柄名	取引手数料
日経225先物取引	275円（税込）／枚
日経225ミニ先物取引	38.5円（税込）／枚 （1円未満切捨）
日経225マイクロ先物取引	11円（税込）／枚
マザーズ先物取引	41.8円（税込）／枚 （1円未満切捨）
金先物・白金先物・銀先物・パラジウム先物・ゴム先物・とうもろこし先物・大豆先物・小豆先物取引	275円（税込）／枚
金ミニ先物・白金ミニ先物・金スポット・白金スポット取引	77円（税込）／枚

【オプション取引にかかる費用】

日経225オプション取引は1取引あたり、日経225ミニオプションは1枚あたり以下の手数料がかかります。

銘柄名	取引手数料
日経225オプション取引	売買代金の0.198%（税込） 最低手数料198円（税込） （1円未満切捨）
日経225ミニオプション取引	19.8円（税込）／枚 （1円未満切捨）

【委託証拠金等について】

先物・オプション取引をおこなうには、委託証拠金の差し入れが必要です。必要委託証拠金はVaR方式(特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額を計算する方法)によって計算され、「(取引所証拠金額×当社が定める証拠金掛目)-ネット・オプション価値総額+先物両建て証拠金」となります。

※先物両建て証拠金 = 銘柄ごとの両建て枚数×両建てにかかる限月の中で最も高い1枚あたりの取引所証拠金額×当社が定める証拠金掛目

※先物両建て証拠金は、価格の変動に損益が連動しない建玉（両建玉）を保有している場合であっても、上記算出式に基づく証拠金額が必要です。

※両建て取引は経済合理性に欠くおそれがあり、費用も二重にかかることをご理解のうえで、お取引ください。

**Rakuten 楽天証券**